

\*\*\*\*\*

東京クモゼミ報告 第 240 号 加藤家 2015 年 10 月 3 日

\*\*\*\*\*

参加者 安藤昭久・池田博明・加藤輝代子・加藤むつみ・輿石紗葉子・新海明・鈴木祐弥・谷川明男

+++++

池田博明, 2015. クモから見た生物の進化(前半)。高校 1 年への講話予稿。池田報告。

クモは身近な環境で多くの種数を観察できる生き物であり、野外で手軽に古生代から新生代までの代表種をあげることのできる生き物である。つまり、庭先で進化のパノラマを展開することが可能である。

高校 1 年への講話を依頼されたので、取り上げる話題と展開を工夫してみた。

+++++

新海明, 1998. 落葉落枝に支えられた円網の記録. kishidaia, (75): 21-23. 新海報告.

カラフトオニグモ幼体が垂下するワク糸に枯れ葉を釣り上げていた例、ミナミノシマゴミグモの が垂下するワク糸に落枝(15cm長)を釣り上げていた例、ジョロウグモがアジサイの落枝を釣り上げていた例を報告した。過去に釣り上げ、または糸の下端が支えられた記録として舟津金松(1951)の石、松山紘一(1957)の石、植村利夫(1957)の落葉、松本誠治(1963)の落葉がある。

+++++

松山紘一, 1957. 石を吊したクモの網. Atypus, (14): 18-19. PDF 化した Atypus を参照して松山の報告を見る。小石を吊るしたクモについて松山はオニグモかヤマシロオニグモと推測していた。

+++++

加藤むつみ, 2015. トゲグモの飼育. 加藤む報告。飼育したクモについて、日付・体調・管理・備考をエクセルに記録。2014 年 12 月 2 日に野外から採取した卵囊からは 2015 年 3 月 7 日に 2 頭が出囊したが飼育の甲斐なく 3 月 29 日に死亡。さらに出囊した 6 頭のうち 1 頭が親にまでなった。飼育者が飼育日記を公開することで飼育データが共有されるようになるのではないか。

+++++

鈴木祐弥, 2015. 西表島クモ紀行. 9 月 13 日から 16 日まで観察・採集。鈴木報告。

ホソミアシダカグモ・アシダカグモ・ホシスジオニグモ・コガタコガネグモ幼・ハナナガイソウロウグモ・ヤエヤマシボグモ・ササグモ垂・ヒメユウレイグモ・サラグモの一種・ホシズナワカバグモ・ナガズキンコモリグモ・カラオビハエトリ・オオジョロウグモ・ミナミノアカイソウロウグモ・ヒメグモ・ヤエヤマジョウゴグモ・カマスグモ・イシガキアオグロハシリグモ・スズミグモ・チ+サトゲグモ・ヤエヤマトタテグモ幼・リュウキュウセンショウグモ・ツツゲホウグモ・アマミハグモ・サキエダオニグモ・イシガキキムラグモ・クロヤマシログモ・マツガエウズグモ・シマササグモ・キヌアミグモなどを観察した。

+++++

鈴木祐弥, 2015. 静岡県未記録のクモを採集。鈴木報告。キエビグモ ・ヒトリコゲチャハエトリ ・ヒメカラスハエトリ ・ムツトゲイセキグモ ・ムネグロヒメグモ ・ヒシガタヒメグモ 。

+++++

鈴木祐弥, 2015. 筑波大学周辺のクモ。鈴木報告。オオクマヒメドヨウグモ幼・ゴマジロオニグモ ・ハラダカツクネグモ ・ヒノマルコモリグモ ・スズミグモ・ワスレナグモ 25 頭・キシノウエトタテグ

モ筑波大学個体群。

+++++

鈴木祐弥, 2015. ヤリグモ幼体の捕獲した餌 14 例。鈴木報告。ヒメグモ・ハツリグモ・カタハリウズグモなどクモのほか、昆虫も餌としていた。例えばハエ・アリ・タマバエなど。

+++++

輿石紗葉子, 2015. 朝日新聞デジタル版より「小鳥がクモの巣に。ピンチ！迫るクモ」。輿石報告。ナガコガネグモの網にセッカ幼鳥がかかった。神奈川県平塚市での記録。

+++++

輿石紗葉子, 沖縄クモ紀行. 9月22日から25日まで。主にヤンバル地域で採集。輿石報告。

スナハラコモリグモ + 卵囊・リュウキュウコモリグモ・オキナワカワリアシダカグモ・オオハシリグモ・ケアシハエトリ・コガタコガネグモ・ヤンバルコモリグモ・ネッタイコモリグモ・ナガズキンコモリグモ・オキナワナガイボグモ + 卵囊3個などを観察。

+++++